

第一回 中京圏渋滞ボトルネック対策協議会

議事概要

1. 日 時 平成 24 年 8 月 2 日（木）14:00～15:30

2. 場 所 中部地方整備局 8階共用大会議室

3. 議 題

- （１）中京圏渋滞ボトルネック対策協議会規約（案）
- （２）中京圏の交通状況
- （３）課題箇所特定のか考え方
- （４）中京圏の渋滞箇所（案）

4. 議事要旨

- ・ 東名阪では暫定 3 車線化の対策が予定されているが、行楽シーズン等における、休日割引渋滞を危惧している。
- ・ 東名における暫定 3 車線化区間は道路幅員が狭くなっており、違和感がある。
- ・ 渋滞が追突事故につながるため、事故防止のためにも渋滞対策が重要である。
- ・ 渋滞が発生すると物流の効率化が損なわれる。生産の現場では、ジャストインタイムの物流が求められることもあり、渋滞によりコスト増につながると、経済へマイナスの影響を及ぼす。
- ・ より多くの国内外からの観光客を中京圏へ呼び込むためにも、ハード・ソフト対策を 1 日も早く実施し、渋滞を解消することが必要である。
- ・ バイパス整備等で多重化する等、渋滞解消のための具体の案を早く示してほしい。
- ・ 本協議会の資料で抽出されている渋滞箇所の候補箇所をパブリックコメントで示すことについて了解。